

## 令和4年度(2022年度)第7回長房中学校区地域づくり推進会議 議事概要

|      |  |
|------|--|
| 日時   | 令和4年(2022年)2月4日(土)9:30~12:00   |
| 場所   | 長房小学校 プレイルーム   |
| 出席者  | 参加者：縣、宇田、管野、清水、鈴木、坂本、塚本、竹下、中嶋、仁科、西山、野副、本堂、松葉、森、森本、山陰、渡辺<br>高齢者あんしん相談センター長房：古座野<br>シルバー見守り相談室長房：光富<br>第1層生活支援コーディネーター：今泉<br>八王子地域 PAL-ETTE：雑賀、三浦<br>資産管理課：高田<br>地域教育推進課：高橋<br>未来デザイン室：今川、野田、安齋、牧瀬<br>(株)アール・ピー・アイ：笠原、岩崎、中井、吉川 |
| 見学者  | 浅川地域事務所：清水<br>由木地域事務所：滝口<br>八王子未来 CAN-VAS：和田   |
| 配布資料 | ・令和4年度(2022年度)第7回長房中学校区地域づくり推進会議資料<br>・資料1 第6回長房中学校区地域づくり推進会議の検討まとめ<br>・資料2 地域づくり推進計画(改定版)(案)<br>・資料3 令和5年度(2023年度)以降の地域づくり推進体制(案)   |

### 1 開会

未来デザイン室から挨拶。

### 2 議題確認

会議資料をもとに本日の議題を確認し、この後の議題進行を鈴木氏が務める旨を報告した。

### 3 議題

#### (1) 第6回推進会議の検討結果の振り返り

会議資料の3ページ及び資料2をもとに、推進会議のあり方、活動方針、今後の活動、推進計画(改定版)に関する主な検討・決定内容を共有した。

#### (2) 運営担当打ち合わせの報告

会議資料の3ページをもとに、会議の進行、推進会議の体制、その他事項に関する検討結果を共有した。参加者からの主な意見は以下のとおり。

【主な参加者意見】

・今後は地域主導で進めていくという考え方で良いか。(参加者)

そうである。(未来デザイン室)

・令和5年度(2023年度)以降の部会について、情報発信部会を清水氏と本堂氏、イベント部会を鈴木氏と野副氏、支え合い部会を森氏と山陰氏が運営(役員も兼ねる)をしていただけるとの希望をいた

だいた。後半で行う部会ごとの検討時に、改めて確認してほしい。

- ・都営長房団地は大きく4つに分かれているが、南団地だけ推進会議参加者に入っていない。オブザーバーでも良いので参加できないかとの意見もあるため、今後の課題としていきたい。

### (3) 推進計画(改定版)(案)の確認

会議資料の4ページ、資料2をもとに1月に行った事前ワークの結果を踏まえた変更点などを事務局より説明。主な意見交換内容は以下のとおり。

#### 【主な意見交換内容】

- ・地域概要に関する記載内容は、横山中学校区が主であり、長房中学校区としての関わりは薄いといった点については、長房中学校区としても深く関わっているということであれば、変更する必要はないと考えている。(未来デザイン室)

市民センターまつりなどの会場は横山中学校区であるが、実施主体は基本的に長房地区なので、記載内容はそのまま良いのでないか。

- ・資料2の20ページに記載する名簿については、これまで名前と肩書きのみであったが、各団体とのつながりや連携をより強化していく必要があることから、推薦団体等を追記した方が良いと運営担当から提案をいただいた。この場では、この記載方法について確認させていただきたい。

- ・南団地の代表者が参加者として会議に出席する件はどのような方針とするのか。

令和5年度(2023年度)に改めて参加者に関する議論を行い、その決定をもって正式に加わっていただく形になるのではないか。(未来デザイン室)

- ・名簿の推薦団体等の欄に、長房中学校学校運営協議会は「学校運営協議会」、長房小学校学校運営協議会は「地域住民」となっているのはなぜか。

事務局において、本推進会議を設置するに当たり、学校運営協議会に推薦依頼を行ったのが、中学校のみであったため、小学校の学校運営協議会は、地域住民と記載している。(未来デザイン室)

- ・計画(改定版)の発行は3月末で良いのか。

その予定である。4月からは、本計画をどのように地域全体に広めていくかについても、推進会議で議論させていただきたい。(未来デザイン室)

南団地の方などが令和5年度(2023年度)から加わって活動するのであれば、名簿は新しい参加者名を記載した方が良いのでは。発行して数週間後には違う情報になってしまう。(参加者)

本計画は、令和8年度(2026年度)までを計画期間としており、今後、名簿の記載内容などに関する変更がある場合は、必要に応じて改定することも可能である。よって、現時点では、計画策定時の参加者を記載させていただきたい。(未来デザイン室)

- ・船田町会も、長房地域にとって重要な町会であるが、参加者がいない。

本推進会議には、船田町会役員の方が参加しており、町会会長とは随時情報共有し、必要に応じて協力いただけることとなっていると聞いている。(未来デザイン室)

- ・名簿には肩書きの記載があるが、今後肩書きが変わったとしても参加者として継続的に参加するのか、それとも新しい方に交代するのか、はっきりさせた方が良い。

そういった内容も推進会議の中で検討していくことではないか。今後、参加者について団体内で改めて検討・決定いただく可能性もある。肩書き記載の必要性についても考えていく必要がある。

現在推進会議に参加されている方々も、今後、所属などが変わっていくため、名簿に記載している肩書き等の記載は、あくまで現時点のものとしてさせていただきたい。(未来デザイン室)

- ・計画(改定版)の検討は、令和5年度(2023年度)に伸ばすことは可能か。

令和4年度(2022年度)中の策定を目指しているため、本記載内容については少なくとも2月中に決定したい。(未来デザイン室)

今後、計画に基づく取組に関する検討や修正なども想定されるため、現時点のものが良いのではないかと。

・それでは、現行の記載内容のままで決定させていただくことで良いかと。(未来デザイン室)

異議なし。

#### (4) 令和5年度(2023年度)における地域と市との役割分担

会議資料の5ページをもとに、令和5年度(2023年度)から推進会議を地域で主体的に運営していくに当たり、地域と行政の役割分担について、これまでの推進会議での議論を踏まえ、事務局より提案。主な意見交換内容については以下のとおり。

【主な意見交換内容】

・運営担当としても、この事務局提案については、始めは事務局にサポートしてもらいながら、地域で主体的に取り組んでいきたい。

異議なし。(参加者)

#### (5) これからの活動に向けた準備・相談

ア 地域づくり推進体制の確認

イ 令和5年度(2023年度)に向けた検討事項

会議資料6ページ、資料3をもとに、令和5年度(2023年度)以降の地域づくり推進体制、検討事項を全体で共有した。主な意見交換内容については以下のとおり。

【主な意見交換内容】

・気軽に参加者を増やすことができ、柔軟に活動できる会議体を目指したい。

資料2の19ページに地域づくり推進体制の全体図を記載している。令和5年度(2023年度)の推進会議参加者として資料3に示した17名は、1月のアンケートから引き続き参加いただけると回答をいただいた方々である。今後、この推進会議をさらに発展させていくために、ルールを決めたうえで、参加者をさらに増やせるよう取り組んでいきたい。そこは、先日の運営担当との打ち合わせでも合意した部分である。(未来デザイン室)

・役員となる意向をお示しいただいた方に役員と記載しているが、このメンバーで良いか確認したい。

・役員の決め方は、推薦でも良いのか。公共施設部会の役員が1名なので、もう1名推薦したい。

・団体等の肩書きがなくても、これまでの参加者には継続して参加してもらう方法が必要。人数を増やすことも重要だが、継続することでアドバイザー的な立場で参加することも良いのでは。

・全体会は情報共有の場としてもう少し小規模の開催でも良いのでは。全体会には参加しなくても部会に継続的に参加することで地域づくりに関する情報を共有することは可能。

ウ 部会活動を行っていくための検討

会議資料の8ページをもとに、部会ごとに検討を行った。各部会の発表内容の概要は以下のとおり。

【情報発信部会】

・ボランティアでは活動に限られるし、お金も続かない。

・活動が始まっている部会もあり、まずは2月に試行する「みんなの食堂」の実施報告を発信する。

・他の部会において広めたい情報を情報発信部会として発信していきたい。

・今後の課題として、端末機材の調達や個人負担の軽減方法などが挙げられた。全体会にも相談しながら取り組んでいきたい。

#### 【イベント部会】

- ・ハロウィン、東団地で実施している取組を継続するとともに、今後各町会に声掛けを行い、可能な範囲で令和5年度(2023年度)から広げていきたい。難しい場合は、東団地の見学からスタートする。
- ・各町会で何回か実施した後、合同での実施も検討。場所は交番裏の空き地を想定。
- ・実施日は、10月末の土日を想定。約3か月前から準備していく予定。
- ・ハロウィンの取組は、当初、高齢者の安否確認も兼ねていたと聞いた。若い世代や子どもたちも一緒に高齢者の見守りができる素晴らしいイベントであると再認識した。
- ・マルシェは実施実績がないので、スモールスタートで進める。ハロウィンとマルシェを一緒に実施するのも良いと考えている。
- ・部会内の連絡方法は、これまで通りLINE やメールで行う。次回の部会は4月に実施予定とする。
- ・今後も、ハロウィン・マルシェだけでなく、やりたいこと挙げてもらい話し合っていきたい。

#### 【支え合い部会】

- ・2月19日に試行的に「みんなの食堂」を開催する。時間は11:00～、12:00～の2回に分けて行う(各50食)。スタッフは「ひまわりサロン」のメンバー、食材はアルプスが提供予定。参加対象者は東団地の住民のみ。価格は、大人300円/人で、1世帯4名まで利用可能としている。
- ・次の部会は、3月6日14:00～、高齢者あしん相談センターの会議室で開催予定。試行開催の反省会を行う。新しい部会メンバーは長房の各サロンを通して募集予定で、当面は森氏と山陰氏からメール等で連絡することとしている。

#### (6) 今後の公共施設部会の考え方について

会議資料の8ページをもとに、担当所管(資産管理課及び地域教育推進課)より説明を行った。参加者からの質疑等はなし。

#### (7) 活動・情報の共有

##### 【連絡事項】

- ・「ミライ ミーティング～多世代交流～」を2月5日9:30～コピオ長房コピテラスで開催する。
- ・地域施設部会で作成した動画を、コピテラスで12:00～、16:00～の各1時間ずつモニターで流す予定。いつから流すかについて確認したい。  
アルプスと調整のうえ、無理なく発信できるタイミングで良いのでは。
- ・情報発信部会での議論で、現在のSNS部会では個人の端末から発信することとしているが、それでは個人端末にある情報の流出、誤送信などのリスクがあるため、情報発信部会専用の端末を準備する必要があると考えている。端末を用意することで、写真などのデータ管理にも活用できる。市からの機材提供は難しいことから、個人で使っていない端末があればぜひ提供して欲しい。みんなの食堂やマルシェ等の売上で購入も一つの入手方法として考えられる。
- ・地域イベント部会の活動の一環として、住民協だよりに地域カルテの情報を掲載した。今後、印刷が完了次第、地区全域に配布していく予定。今後、掲載したい情報などがあれば、ぜひお声かけいただきたい。

#### 4 閉会

以上